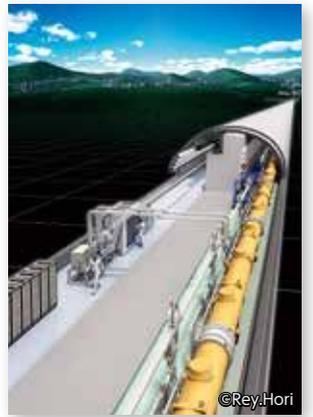




いちのせき

2025 一関市勢要覧



岩手県一関市



三陸復興国立公園

一関市は、東北のはほぼ中心にあたり、古くから交通の要衝として栄え、岩手県南、宮城県北エリアの中核としての役割を担ってきました。

当市では、岩手県南から宮城県北に至る地域を中東北というくりでとらえ、それぞれの地域が互いに競い合いながら圏域全体で発展していくことを目標に市政運営を進めてきました。

特に県境を意識しない、同じ日常生活圏にある平泉町、宮城県栗原市、登米市、気仙沼市との広域連携を深めています。

東北や日本の未来を大きく変える可能性をもった国際プロジェクトの「国際リニアコライダー（ILC）」を総合計画の重点プロジェクトに位置づけ、次の世代を担う子供たちが夢と希望と誇りをもって活躍できる地域となるようSDGsの理念を踏まえた持続可能な地域づくりを進めています。

令和3年5月には、SDGsの達成に向けて優れた取り組みを進める「SDGs未来都市」として選定されています。

当市を取り巻く社会情勢の変化を的確に捉え、市民みんなで手を携え、幸せに満ちた明日を創りあげることを目指し、総合計画において市の将来像として掲げた「みつけよう育てよう 郷土の宝 いのち輝く一関」の実現に向け確かな歩みを進めています。



いちのせき SDGs

▶ 東北新幹線		▶ 飛行機	
東京	約1時間53分 (最速)	札幌(新千歳)	約1時間5分
仙台	約21分	名古屋(中部)	約1時間5分
盛岡	約23分	大阪(伊丹)	約1時間10分
新青森	約1時間19分	広島	約1時間15分
新函館北斗	約2時間23分	福岡	約1時間45分
		沖縄	約2時間45分
▶ 東北自動車道		札幌(新千歳)	約55分
川口JCT	約4時間20分 (420.3km)	名古屋(小牧)	約1時間10分
仙台宮城IC	約55分 (87.9km)	大阪(伊丹)	約1時間15分
盛岡IC	約60分 (91.8km)	神戸	約1時間30分
青森IC	約3時間 (259.2km)	福岡	約1時間55分



一関市のデータ

1. 位置

資料: 国土地理院

区分	一関市の位置				市役所所在地
	東端	西端	南端	北端	
経度	141° 29' 38"	140° 45' 50"	141° 13' 53"	141° 23' 05"	一関市竹山町7番2号
緯度	38° 57' 18"	38° 59' 19"	38° 44' 52"	39° 09' 43"	38° 56' 05"

2. 面積

令和6年4月1日

総面積	一関地域	花泉地域	大東地域	千厩地域	東山地域	室根地域	川崎地域	藤沢地域
1,256.42 km ²	410.23 km ²	126.83 km ²	278.71 km ²	89.84 km ²	87.72 km ²	97.28 km ²	42.49 km ²	123.15 km ²

資料: 国土地理院「令和6年全国都道府県市区町村別面積調」
※各地域の面積は「平成17年全国都道府県市区町村別面積調」

みんなが安心して暮らせる笑顔あふれるまち

市民誰もが健康で心豊かな生活ができるまち、
快適で潤いと安らぎのある住環境とコミュニティーを創造します。

安全 security



市民の安全と古里の財産を守るため、防災や消防・救急体制の充実を図ります。市民・地域・行政が一体となって安全・安心な地域社会を目指します。

医療 medical treatment



病院や診療所をはじめさまざまな医療機関との連携を強化し、救急医療と地域医療の充実を図ります。

教育 education



生きる力と学力を養う義務教育、芸術文化やスポーツ・レクリエーション活動による生涯学習を推進し、個性と能力が発揮できる環境づくりを進めます。



子育て raising children

妊娠期から出産・子育て期まで切れ目ない支援のもと、子どもが自分らしく健やかに成長できるよう、地域全体で子育てを支える体制を充実させます。



環境 environment



豊かな自然と共生するまちづくりを進めます。
資源・エネルギー循環型まちづくりを推進し、令和3年2月「2050年二酸化炭素排出実績ゼロ宣言」を表明しました。
令和5年3月には宣言達成のために「一関市地球温暖化対策地域推進計画」を策定し、脱炭素社会の実現を目指します。

11.市道の実延長

(令和7年4月1日 資料:道路管理課[各地域道路台帳])
4,282.37km(舗装率55.3%)

12.水道普及率

(令和6年度末 資料:上下水道部集計)
88.5%

13.汚水処理人口普及率

(令和6年度末 資料:一関市汚水処理施設整備状況他)
74.0%

14.国際姉妹都市

オーストラリア セントラルハイランズ市
(合併前の藤沢町とデュアリンガ町(現セントラルハイランズ市)との間で平成5年に締結、平成23年一関市と改めて締結)

15.姉妹都市

福島県三春町
(旧一関市との間で昭和62年締結、新一関市へ引き継ぐ)

和歌山県田辺市

(合併前の室根村と本宮町(現田辺市)との間で昭和58年に友好都市を締結、新一関市へ引き継ぐ。平成30年に姉妹都市を締結)

16.友好都市

埼玉県吉川市
(合併前の室根村との間で平成9年に締結、新一関市へ引き継ぐ)

宮城県気仙沼市

(旧一関市との間で平成9年締結、合併前の室根村との間で平成15年に締結、新一関市へ引き継ぐ)

和歌山県新宮市

(令和3年7月締結)

「バイオマス産業都市」

平成28年10月認定(一関市)

「食と農の景勝地」

平成28年11月認定(一関市・平泉町)

「世界がんがい施設遺産」

平成28年11月登録(一関市・平泉町)

行政



市長
佐藤 善仁



副市長
石川 隆明

議会

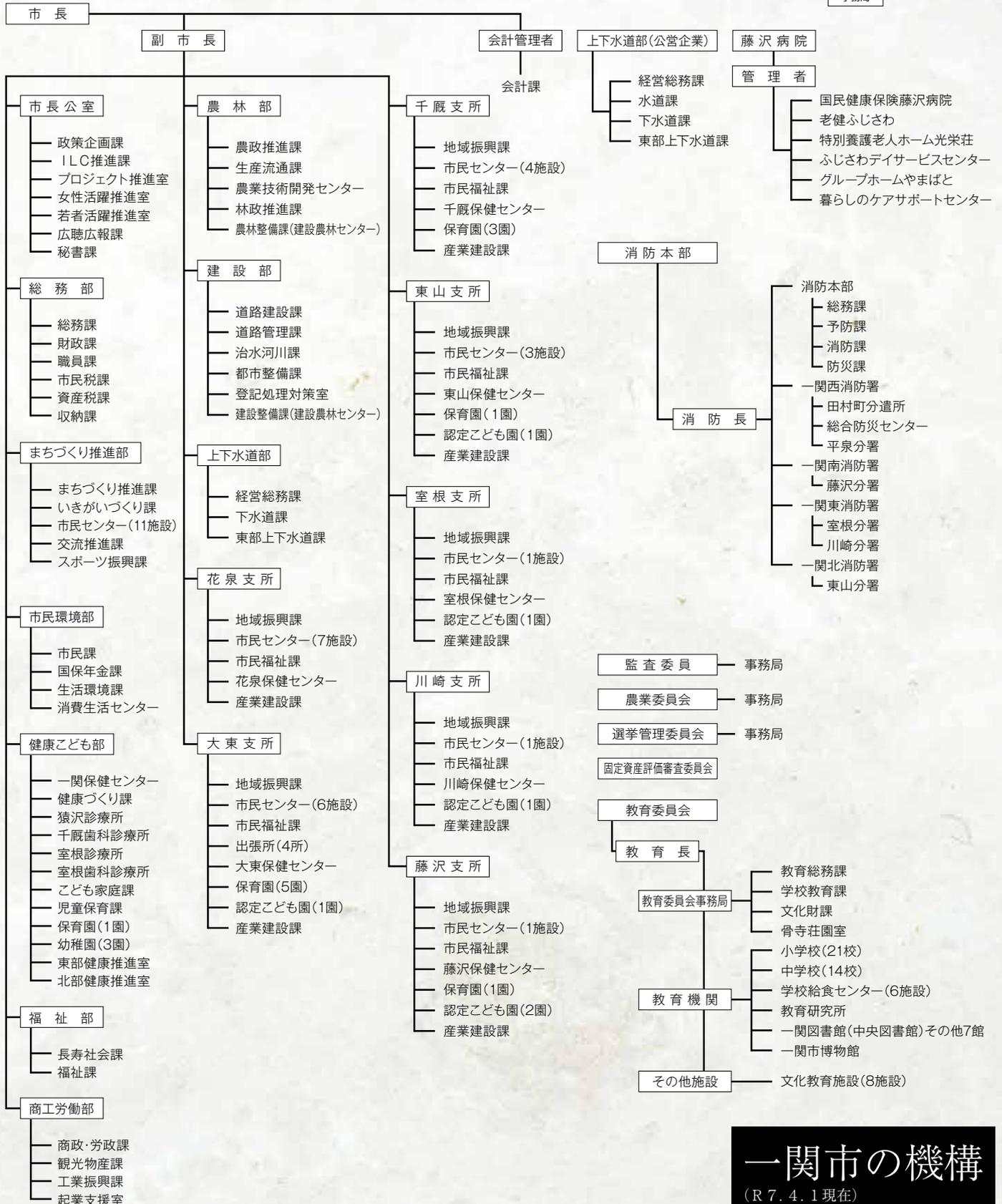
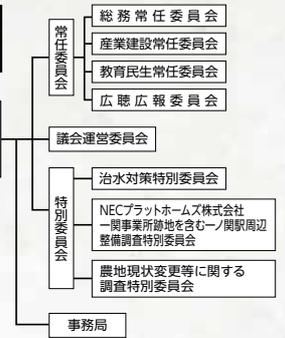


議長
勝浦 伸行



副議長
千葉 幸男

議会 機構図



「郷土の宝物」
地域資源を
活用しよう

- 豊かな自然、歴史、文化などの風土や農林水産物、鉱工業品及びその生産技術、観光資源などの先人が守り、築いてきた地域資源は、一関市の宝物です。
- これらを十分に活用するほか、まだ気づかれていない資源を市民一人ひとりの知恵と工夫により掘り起こし、みがき、活用します。

「市民主体」
自ら考え共に
行動しよう

- 市民は、互いに助け合いながらまちづくりに主体的に参画し、行政は、市民がまちづくりについて知り、考え、行動できるような市政を推進します。
- 市民、地域、企業、行政など多様な担い手が、それぞれの立場や責任に応じて協力関係を築き、役割を分担し、共に行動します。

「次世代人材支援」
郷土を誇りに思う
心を育てよう

- まち全体で人を育てることは、郷土を誇りに思う心を育み、この誇りが地域づくりを担う気持ちへとつながります。
- 家庭、地域、学校、企業、行政などそれぞれの持てる力を結集し、次代の一関を担う人材を育成します。

「安全・安心」
みんなで支え合い
暮らしていこう

- すべての市民が、自然災害や生活などに不安を感じることなく安全・安心に暮らせることは、まちづくりの根幹です。
- 行政、関係機関、地域などが協力し合い、安全なまちを実現し、いつまでも安心して暮らしていけるよう、市民同士が互いにつながり、共に支え合います。



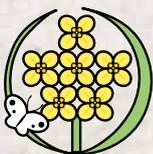
市章

(平成17年11月15日制定)

一関市が人々に愛され、親しまれ、さらに発展する姿をイメージし、「一関市」の「い」の字を基にデザインしています。青は中央部を流れる北上川やその支流の川の色を、また緑は奥羽山脈や北上山系の森の色をイメージしており、一関市の豊かな自然を表現しています。

市の花・木・鳥

(平成18年8月1日制定)



花 「なのはな」

昔から作物として人々の生活との関わりが深く、一面黄色に群生している様子は、市民の連帯と協調を表す花としてふさわしい。



木 「ぶな」

栗駒山や室根山などに原生し、豊かな自然環境の象徴であり、うるおいのある健やかな市民生活を表す木としてふさわしい。



鳥 「うぐいす」

昔から人々に愛され、春の訪れを感じさせる美しい鳴き声は市民の高い精神性・文化性を象徴し、明るく安らぎのあるまちづくりを表す鳥としてふさわしい。

一関市民憲章

(平成18年9月1日制定)

わたくしたちは

ゆたかな自然と悠久の歴史に育まれた
いわいの里に誇りをもち
心あわせて活力ある一関をつくるため
この憲章を定めます

この憲章を定めます

一 教養を高め誇れる文化を育てます

一 健康で働き豊かな郷土を築きます

一 自然を愛し美しい環境を守ります

一 思いやりと協力で安全な暮らしをつくり

一 地域が結び合い輝く一関を目指します

一関市民歌

(平成19年1月29日制定)
作詞 北川康宏 / 作曲 高嶋みどり

一 緑ゆたかに 爽やかに
室根 栗駒 そびえ立つ

空の青さに いだかれて
さえずる小鳥 遊ぶ子ら
自然と共に 生きるまち

いのち輝く いちのせき

二 巡る季節を 映し出す
厳美 猊鼻の 清流に

歌声高く こだまして
大きな夢を ふくらませ
心の糸を 紡ぐまち

笑顔輝く いちのせき

三 風と光を 友として

北上川は 流れゆく
遙かなときを 偲びつつ
明日をつくる 若い星
希望の鐘が 響くまち

未来輝く いちのせき

